

2014年8月28日

第一生命保険株式会社

DIAMアセットマネジメント株式会社

国内成長株式に投資する新たなスマートベータ型運用手法の共同開発について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長 渡邊 光一郎)とDIAMアセットマネジメント株式会社(代表取締役社長 西 恵正)は、第一生命が有する中長期投資のノウハウとDIAMが有するクオンツ運用力を活用し、国内の成長企業への投資を目的としたスマートベータ^(※)型運用手法を新たに共同開発しました。

※「スマートベータ」とは、従来型の時価総額加重平均とは異なる手法で算出される株価指数の総称です。

近年、注目が高まっているスマートベータ型運用は、その多くがバリュー運用や低ボラティリティ運用といった手法によるものですが、今般新たに開発した運用手法は、投資先の成長性にも着目した点に特徴があります(詳細別紙)。

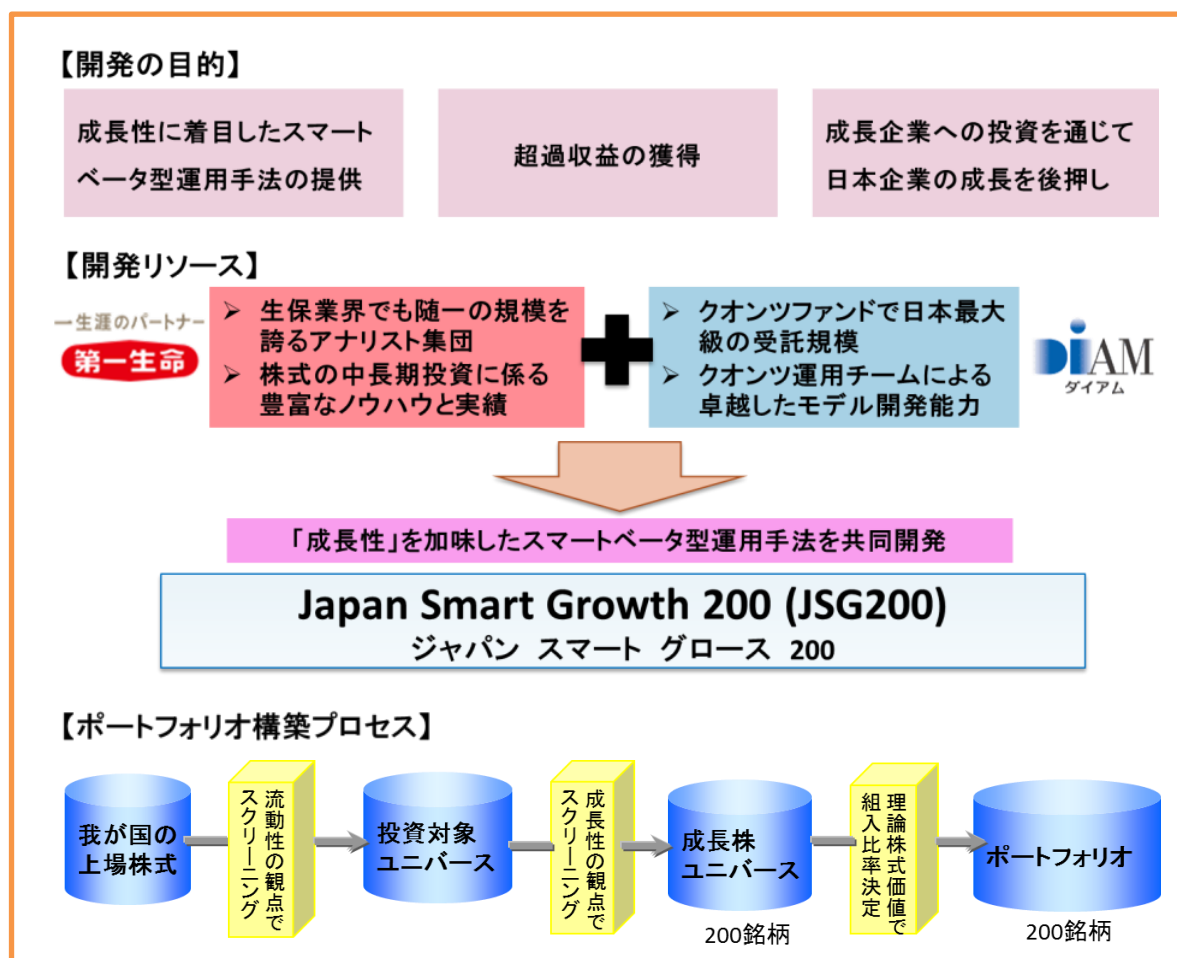
今回共同開発した運用手法は、「国内(Japan)」の「成長株(Growth)」に投資を行う「スマートベータ(Smart Beta)」型の運用という特徴があり、200銘柄で構成されることから、「Japan Smart Growth 200(以下、JSG200という)」と命名しました。

第一生命は、成長分野・成長企業への投融資を積極的に推進しておりますが、この取組みを加速させるべく、グループ一丸となって共同開発したJSG200に最大200億円程度の投資を行う予定です。また、DIAMはJSG200の認知度を高めていくとともに、広く投資家の皆様にJSG200に基づく運用商品を積極的に提供していきます。

<JSG200 について>

JSG200 では、日本を代表する成長企業 200 社を投資対象として選別し、時価総額加重平均ではなく理論株式価値にて各銘柄のウエイトを決定します。

また、JSG200 は、日本株の収益獲得に有効とされる「小型」及び「割安」というファクターに加えて「成長性」のファクターが市場平均よりも高いという特徴を持ちます。DIAMによる過去 10 年のデータを用いたシミュレーションでは、JSG200 のリスク(標準偏差)は TOPIX(配当込み)とほぼ同程度ながら、年平均リターンで2%程度の超過収益を得る結果となるなど、良好なパフォーマンスであることを確認しています。



商号等 / DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 324 号

加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

[【投資信託ご購入上の注意等はこちら】](#)